

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■発展プリント

単元:12 身近な地域の調査

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ (1) 三角州</p> <p>㊦ (2) <u>上流</u>から運ばれてきた細かな土砂が河口に<u>たい積</u>してできた。(28字, 下線部の語句をすべて使用)</p> <p>㊦ (3) ウ</p> <p>㊦ (4) 1 km</p>	<p>㊦ (1)(2) 安曇川が上流から運んできた細かい土砂が、琵琶湖に注ぐ場所にたい積してできた三角州である。三角州の多くは川が海に注ぐ河口に形成されるが、琵琶湖のように大きな湖の沿岸でも見ることができる。三角州は低平な土地であるため、その多くは田として利用されたり集落が形成されたりする。</p> <p>(3) ア 地形図中に 86 の数字が示されている。これは標高 86mを示しており、海沿いではなく内陸であることがわかる。また、地形図中に「びわ湖こどもの国」とあることから、琵琶湖沿岸であると判断できる。</p> <p>イ エカイ沼の周りには整然と区画された田が広がっている。</p> <p>ウ 地形図は方位記号がない場合、上が北、右が東、下が南、左が西を示す。北川橋から見てびわ湖こどもの国は右下に位置するため南西ではなく南東である。</p> <p>エ 本庄橋から北川橋に向かうと、左手に若宮神社があり、その後、寺、神社、寺を見ることができる。</p> <p>(4) 縮尺が2万5000分の1であるため、地形図上の4cmの実際の距離は、$4\text{ cm} \times 25000 = 100000\text{ cm} = 1000\text{ m} = 1\text{ km}$となる。</p>
<p>㊦ (1) 扇状地</p> <p>㊦ (2) 博物館</p> <p>㊦ (3) 果樹園</p>	<p>㊦ (1) 地形図は山梨県の甲府盆地東部に位置する、京戸川が山地から平地に出たところに形成された扇状地の一部を示している。なだらかな傾斜地で、1950年代までは、そのほとんどが桑畑となっていた。</p> <p>(2) 釈迦堂遺跡博物館である。周辺から発掘された大量の土偶・縄文土器・石器などが収められている。このことから、甲府盆地には縄文時代から人々が生活し、独自の文化を形成していたことが分かる。博物館の記号は2002年に新たに加えられたものである。</p> <p>(3) 蜂城山の斜面には針葉樹林、広葉樹林が見られるが、扇状地のほとんどが果樹園となっている。果樹園のほとんどがぶどうで、観光農園も多くあり、ぶどう狩りを楽しむ観光客が多数訪れる。</p>